

2021 年度 E.FORUM 全国スクールリーダー育成研修 「スクールリーダー育成のためのオンライン・リレー講座」 実施の様子

京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM では、2021 年 7 月から 2021 年 8 月にかけてスクールリーダー育成のためのオンライン・リレー講座を Zoom によるオンラインライブ配信で開催しました。各回の日程、登壇者とテーマ、参加者のご感想、参加者数は下記の通りです。全 5 回のオンラインでのリレー講座に、延べ 266 名の方がご参加くださいました。登壇者の皆さま、参加者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

● 第 1 回：2021 年 7 月 3 日（土）

【演 題】「教育改革の最新動向と授業づくりの課題」

【講 師】京都大学大学院教育学研究科・准教授 石井英真

【参加者のご感想】

『個別最適な学び』についての理解が深まった。『指導の個別化』と『学習の個性化』の違いがよく理解できた。「個別最適な学びと学習指導要領の理念が整理できた。また、授業とはどういうものかという理念が軸として重要だということがわかった」「個別最適化された学びと協働的な学びの関係性について、考え直す良い機会になりました。また、教師の仕事や役割について疑問を感じている若手が増えているため、とても有意義でした」（参加者 84 名）



● 第 2 回：2021 年 7 月 17 日（土）

【演 題】「基礎研究者と考える特別支援教育」

【講 師】京都大学大学院教育学研究科・准教授 明地洋典

【参加者のご感想】

「発達支援教育の現状について現場の意見等も聞くことができ大変参考になった」「勤務校種によって特別支援教育に対する考え方が多様であること。自分自身の特別支援教育の認識を考えなおす機会になった」「『障がい』をもった生徒たちへの対応についての認識がさらに深まった」「特別支援教育について新たな視点をいただきました」「小・中・高の現場においての問題を含め、共有し議論できた」（参加者 38 名）



● 第3回：2021年7月31日（土）

【演題】「心のケアとは何か—その歴史から考える—」

【講師】京都大学大学院教育学研究科・准教授 西見奈子

【参加者のご感想】

「教育と心のサポートがどのように絡み合うのか、教育が目指す人格形成とはなんなのかという問いを持つことができた。」「主体性が近代的自己像という限定モデルによるものであるというものが見方が得られたことで、相互扶助モデルの教育の在り方について考える機会となった」「目標が、自立することから、支え合う、助け合うという考えの転換期になっていることを知ることができた」（参加者 43名）



● 第4回：2021年8月8日（土）

【演題】「教師の実践知獲得」

【講師】京都大学大学院教育学研究科・教授 楠見孝

【参加者のご感想】

「改めて自身の知識・スキル・教育に対する考え方を見直し、どこを自身の基盤とするか、どこをアンラーニングするかについて考えることができた」「教師の熟達化をテーマに、まさにリフレクションや批判的に自己省察する機会となった」「教員のスキルや学びについて整理することができました。少しでも学び続けられる組織になれるようできることから手を付けたいと思います」（参加者 59名）



● 第5回：2021年8月22日（日）

【演題】「教師が」能動的に取り組む学校マネジメントをいかに実現するか」

【講師】京都大学大学院教育学研究科・准教授 服部憲児

【参加者のご感想】

「自身の働く現場や学級経営において、相手を知り、仕掛けていくことで双方の目的を達成することをねらっていくことについて考えることができた」「『仕掛学』について知り、組織のために意図をもってよりよい『仕掛け』を考えるきっかけを得られた」「どの組織でも、自分の意識・相手意識をはっきりと持つべきだと思いました。また、その組織のキーパーソンをどう位置付けるかも大切なのだと思いました」（参加者 42名）

